

ブロッコリースプラウトの栽培開始

おしどり調剤薬局(有) (鳥取県日野町野田、宇田勲社長、☎0859・72・6090) は機能性野菜として注目を集めるブロッコリーの新芽(スプラウト)の栽培、販売を始めた。抗がん作用が期待できる成分を多く含む「ミラクルブロッコリー」の商品名で、山陰両県のスーパーで販売している。販売の拡大を図り、月間一万パックの出荷が目標。

おしどり調剤薬局

薬局経営を通じてお年寄りの野菜摂取不足を感じた宇田社長が「手軽に生で食べられる栄養価の高い野菜がないか」と情報収集し、ブロッコリースプラウトの存在を知った。同スプラウトは抗がん作用のある酵素スルフォラファンを成熟ブロッコリーより二十倍以上多く含む。豊富なミネラルなどが活性酸素の発達を抑えて免疫力を高める効果もあるという。

スプラウトは米国では葉物野菜の一つとして定着している。宇田社長は米国のスプラウト栽培機を輸入代行する(有)アイエスエス社長で「芽だし野菜普及会」(東京都港区)の宮川照男代表に照会。回転式栽培機を二機導入して栽培ノウハウを学び、昨

年十月に縫製工場跡を改造したスプラウト工場(鳥取県日野町下菅、☎0859・74・6120)で栽培し出荷を始めた。栽培機一機当たり最大十二

の種を投入し、一定温度で定期的に水分を噴霧して発芽させる。長さ十センチになる四日目まで栽培し、種殻の除去と余分な表面水の脱水をしてパック詰めして商品にしている。

回転式栽培機はカイワレ栽培のようにスポンジを使わないのが特徴で、雑菌が繁殖しにくく無駄な資源も使わない。HAC

抗がん作用 酵素

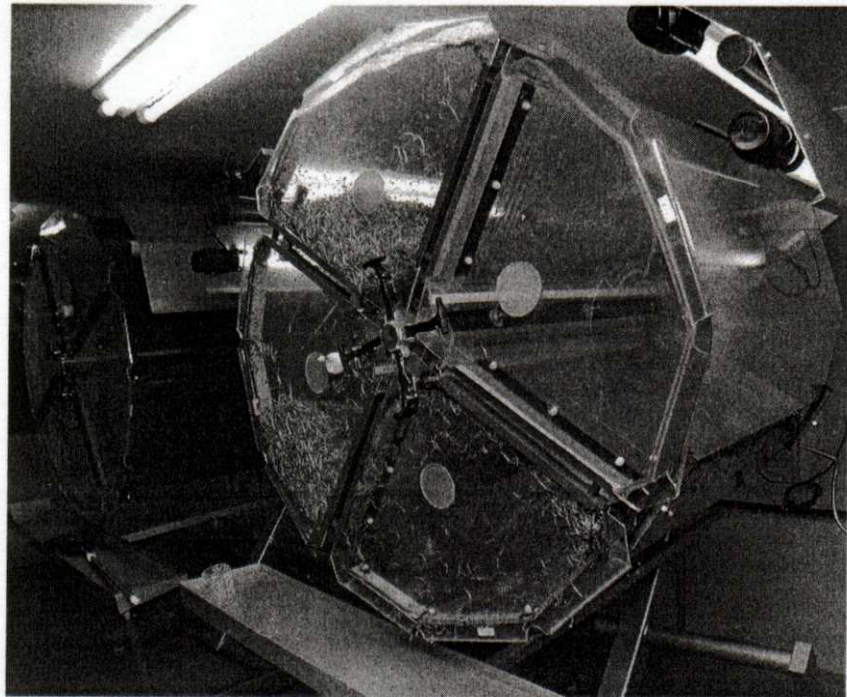
ブロッコリーの20倍以上

1. パック30グラム、月1万パック目標

CP(危害分析重要管理点)対応の工場栽培、検査、出荷な

ど工程ごとに細かく部屋を仕切っている。

一パック三十グラム入りで、店頭価格は百五十円前後。鳥取県西



回転式栽培機の中で育つブロッコリースプラウト=鳥取県日野町下菅、おしどり調剤薬局スプラウト工場

スプラウト(sprout) 新芽、発芽野菜。広義ではモヤシやカイワレ大根も含む。ブロッコリー、赤キャベツ、ブラックマスタートなどの種類がある。ブロッコリーの新芽が胃がん原因物質とされるピロリ菌の増殖を抑制するスルフォラファンと乳がんにも効なインドール3カルビノールが多く含むことを一九九二年、米国の研究者が発見。ピタミン、ミネラルも豊富で、米国でブームになったが、日本では当時カイワレ大根のO157騒ぎなどで注目されず、近年テレビ番組で紹介されて注目されている。

部では六社の二十店舗以上とほとんどスーパーに卸し、鳥根県でも松江市内を中心に一社十店舗で販売。取扱店の拡大を目指しており、山陽方面への出荷も検討している。同スプラウトは、同社以外に宮城、静岡両県の二社でしか栽培していない。宇田社長は「種は米国から輸入せざるを得ない。鳥取県中西部はブロッコリー栽培が盛んなので、将来は地元産の種で栽培し完全な地産地消を実現したい」としている。強い辛味が特徴のラディッシュ(ハツカダイコン)スプラウトも出荷しており、今後も発芽野菜の種類を拡大したい考え。